

# 2023年度事業報告書

(2023年4月1日～2024年3月31日)

## 【公益事業①】

公益事業①については「ドナルド・キーン・センター柏崎」の運営に関わる諸事業で主なものは次のとおりです。

### 1. 入館状況 (2023年4月1日～2024年3月31日)

開館日	入館者数	大人	中高生	小学生	入館料収益
192日	1,752人	1,656人	87人	9人	657,680円

(参考:2022年度)

開館日	入館者数	大人	中高生	小学生	入館料収益
193日	1,386人	1,375人	6人	5人	519,050円

(参考:2021年度)

開館日	入館者数	大人	中高生	小学生	入館料収益
183日	1,914人	1,796人	43人	75人	688,650円

COVID-19の5類移行もあり自粛も多少収まりつつ、また財団設立・公益財団法人移行から4月で10年、ドナルド・キーン・センター開館から9月で10周年を迎えた本年度は、感染防止のための対策を継続しながら開館を継続しました。新聞等による広告も新潟県内に限定しての出稿を継続しておりますが、首都圏や遠方地からの来客もかなり戻ってきている状況です。

開館10周年特別企画展である「未来への伝言 高橋義樹、ドナルド・キーンの太平洋戦争」のオリジナリティーある内容も相まって来館者の反応も良く、10周年を機とした再来館の行動もあり、キーン先生関係の他館での展示会等の波及効果も多少あって、3年目を迎えた新潟県美術館・博物館支援事業「にいがたぐるっとミュージアム」等の効果はそれほどでもないものの、諸々誘客に努めた結果現時点では来館者数については計画を上回る状況(累計にて達成率116.8%)となっております。

### 2. 展示活動

本年度は上記の通り、開館期間中ドナルド・キーン・センター柏崎 開館10周年記念特別企画展「未来への伝言 高橋義樹、ドナルド・キーンの太平洋戦争」を開催し、ドナルド・キーン先生の日本文学研究の1つの原点である太平洋戦争を見つめ直すと同時に、ハワイ日本兵捕虜収容所で出会ったドナルド・キーンと高橋義樹(筆名 堀川潭)の二人の人生に秘められたエピソードを通して、戦争と人間を見つめました。

### 3. 普及活動

本年度においては、事業計画(2023年6月定時評議員会資料)にて、財団設立・センター開館10周年の節目にあたることから、規模の大きなもの・センター以外の会場でのイベント等の実施も含め、積極的に開催する計画としており、①10周年記念式典・講(公)演会、②公益財団法人ブルボン吉田記念財団文学・平和アワード表彰式・記念鼎談会 の開催の他、人形浄瑠璃猿八座公演を2回(6月・11月)・特別企画展ギャラリートークを3回(計画では2回)、中津副館長連続講演会1回の他、大型映像ホールで映像ライブラリーを観る会及びロビーを使つての「クレデンザを愉しむ会」(毎月1回開催・ボランティア主催)等についてほぼ計画通りの実施をしております。実施した活動は以下の通りです。

## (1) 講座・講演会等

### ①財団設立・センター開館10周年記念式典、記念特別講演・英語歌舞伎公演会の開催

開催日時：2023年9月23日(土祝) 13:00～17:15

会場：柏崎市産業文化会館文化ホール

内容：13:00～13:50 第一部 記念式典

吉田理事長挨拶・来賓祝辞・特別表彰・10周年記念誌制作報告

14:00～15:10 第二部 記念特別講演会

講師：平野啓一郎氏 演題「ドナルド・キーンさんの思い出」

15:25～17:15 第三部 記念英語歌舞伎「弘知法印御伝記」柏崎公演

出演：ローレンス・コミンズポートランド州立大学教授、越後角太夫(キーン誠己)、ジェイコブ・スターベン他

入場料：大人1,000円(高校生以下無料) 入場料収入：159,000円

入場者数：246名(入場チケット枚数より)

### ②公益財団法人ブルボン吉田記念財団文学・平和アワード表彰式・記念鼎談会

開催日時：2023年10月22日(日) 13:00～16:00

会場：柏崎市市民プラザ波のホール

内容：13:00～14:00 第一部

公益財団法人ブルボン吉田記念財団文学・平和アワード表彰式

吉田理事長挨拶・審査員紹介・審査講評・表彰・受賞者代表挨拶

14:20～16:00 第二部 記念鼎談会

講師：キーン誠己氏、ジャニーン・バイチマン氏、角地幸男氏

演題「ドナルド・キーンが遺したもの 未来への伝言」

入場料：無料 入場者数：85名(入場チケット枚数より)

### ③人形浄瑠璃「猿八座」公演

#### ○人形浄瑠璃猿八座公演「信太妻」

開催日時：2023年6月4日(日) 13:30～15:00

会場：(株)ブルボン統合研修センター3階多目的ホール

内容：「信太妻」「へっこき嫁どん」

参加料：猿八座応援金として1,000円/人・全額猿八座へ寄贈(別途入館料必要)

入場者数：44名(マスコミ取材・ボランティア応援者含む)

#### ○人形浄瑠璃猿八座公演「越後國柏崎弘知法印御伝記」

開催日時：2023年11月5日(日) 13:30～15:30

会場：(株)ブルボン統合研修センター3階多目的ホール

内容：「越後國柏崎弘知法印御伝記」初段～三段目

参加料：猿八座応援金として1,000円/人・全額猿八座へ寄贈(別途入館料必要)

入場者数：54名(マスコミ取材・ボランティア応援者含む)

### ④講演会他

#### ○企画展ギャラリートーク①

開催日：2023年4月1日(土) 11:00～ 会場：2階特別企画展室

説明者：中津副館長・石黒学芸員 参加料：無料(別途見学科必要) 参加者：18名

○企画展ギャラリートーク②

開催日：2023年4月2日(日) 11:00～ 会場：2階特別企画展室

説明者：中津副館長・石黒学芸員 参加料：無料(別途見学科必要) 参加者：4名

○企画展ギャラリートーク③

開催日：2023年8月19日(土) 13:30～ 会場：2階特別企画展室

説明者：中津副館長・石黒学芸員 参加料：無料(別途見学科必要) 参加者：14名

⑤定期講演会・連続イベント

○中津義人副館長連続講演会「ドナルド・キーンの遺したもの」

開催日：2023年7月30日(日) 13:30～15:00

講師：中津義人副館長 会場：ドナルド・キーン・センター柏崎大型映像ホール

参加料：無料(別途見学科必要) 参加者：31名

○大型映像でみる「DKCK映像ライブラリー」

いずれも、

会場：ドナルド・キーン・センター柏崎 大型映像ホール

参加料：無料(別途見学科必要)

2023年 4月23日(日) 参加者：6名

2023年 5月28日(日) 参加者：5名

2023年 6月18日(日) 参加者：12名

2023年 7月16日(日) 参加者：5名

2023年 8月20日(日) 参加者：8名

2023年 9月17日(日) 参加者：9名

2023年10月15日(日) 参加者：4名

2023年11月19日(日) 参加者：7名

2023年12月17日(日) 参加者：7名 合計 9回 参加者：63名

○クレデンザを愉しむ会(クレデンザによるSPレコード鑑賞会)

いずれも、

会場：ドナルド・キーン・センター柏崎 ロビー

参加料：無料 主催：ドナルド・キーン・センター柏崎ボランティア

2023年 4月 9日(日) 参加者：15名

2023年 5月14日(日) 参加者：15名

2023年 6月11日(日) 参加者：18名

2023年 7月 9日(日) 参加者：13名

2023年 8月 6日(日) 参加者：10名

2023年 9月10日(日) 参加者：15名

2023年10月 8日(日) 参加者：25名

2023年11月12日(日) 参加者：21名

2023年12月10日(日) 参加者：28名 合計 9回 参加者：160名

⑥その他

○ドナルド・キーン・センター柏崎10周年記念茶会「一日静閑一日福」

開催日：2023年6月25日(日) 10:00～15:00

会場：ドナルド・キーン・センター柏崎(屋内・ロビー)、

(株)ブルボン統合研修センター大ホール

主 催：ドナルド・キーン・センター柏崎ボランティア

参加料(お茶席券)：500円 参加者：128名

○西生寺での「越後國柏崎弘知法印御伝記」上映会開催

開催日：2023年10月1日(日) 9:00～12:00

会 場：西生寺(長岡市寺泊野積 8996・弘智法印即身仏霊場)

内 容：BS-TBS で放映された「ブルボン新春スペシャル『300年の時空を超えて  
幻の古浄瑠璃東京見参!』の映像上映

参加者：48名

## (2) 地域との連携事業

地域との連携については、例年同様、当センターの地域密着と幅広い世代に親んでもらう事を目的に教育分野、地域サークル等との連携を図る計画でしたが、本年度は柏崎市内中学校での定期的なパネル展示を実施・継続しました。なお、観光ちよっ得タクシーについては、実施機関の柏崎観光協会が2023年度は企画・運営しないとの決定により、当センターとしても実施・経費負担等はありませんでした。

○柏崎市内中学校でのパネル展示

柏崎市内13中学校に、年4回(1回当たり1か月)「ドナルド・キーンの太平洋戦争」のテーマでパネルを3枚校内に掲出いただいております。

- ・第1回 5月22日～ 人生でいちばん心が暗かったとき・「源氏物語」に心うばわれる・いやな現実を忘れたくて…
- ・第2回 8月24日～ 太平洋戦争が始まった日・悪夢が現実…かくなるうちは…日本語を学びたい一心で
- ・第3回 11月20日～ 海軍に入隊・戦死した日本兵の日記帳・最初の日本人の親友は
- ・第4回 2月13日～ はじめて戦場へ・戦場で見た光景・なぜ捕虜にならずに死を選ぶのか

○「教育センター研修講座：教育課程人材育成講座」(柏崎市刈羽郡学校教育研究会主催)への講師派遣

・日 時 6月28日(水) 14:00～16:30

・会 場 柏崎市市民プラザ波のホール

・当センターから講師を派遣する形にて、ジャニーン・バイチマンさん(大東文化大学名誉教授・キーン先生の教え子の一人)より「ドナルド・キーン：わが師、わが友」の内容にて講演いただきました。

○新潟産業大学シンポジウム「国際日本学の現在 Global History のなかでの日本研究の可能性」への後援

・日 時 3月23日(土) 13:00～17:05

・会 場 新潟産業大学202教室(対面参加者80名) ※オンライン参加80名

・研究発表1として、L・コミンズ米国ポートランド州立大学名誉教授による「弘知法印御伝記～大学生英語版歌舞伎公演を作るチャレンジと喜び」のテーマにて講演があり、財団・センターとして当シンポジウムを後援しました。

## (3) 協力ボランティア事業

ボランティア協力活動については、センターの運営を支えていただく大きな、太い柱になっております。ボランティア主催の勉強会や読書会、ロビー展を定期的に開催することで、ボランティア組織の質的向上、地域密着そして口コミによる集客効果に繋がっております。本年度は以下

ロビー展の開催を行ないました。柏崎市内・近郊を中心とした来館促進に大いに貢献していただいたと考えております。また通常の見守り・案内説明の活動についても COVID-19 他感染症対策にて除菌活動を継続しながら行なっていただいております。

① ロビー展の開催&講演会 ロビー展 5回、講演会 0回

4月2日～16日 「宮嶋美恵子 彩華」展

期間内ロビー展のみ見学者数：55名

5月7日～21日 「和紙(紙)にあそぶ 木村秋雄」展

期間内ロビー展のみ見学者数：182名

6月1日～30日 「下田歌子とその時代」展

期間内ロビー展のみ見学者数：37名

7月2日～16日 「撮り鉄写真展 横山昌二」展

期間内ロビー展のみ見学者数：50名

8月6日～20日 「四季のトールイベント 暮らしを彩る小物 ~Prime rose 小山睦」展

期間内ロビー展のみ見学者数：55名

12月3日～17日 「ドナルド・キーン・センター柏崎 ボランティア10年の歩み」展

期間内ロビー展のみ見学者数：12名

② ボランティア文化部による読書会の開催 5回

4月8日(土) 会場：(株)ブルボン統合研修センター3階多目的ホール 参加者：8名

6月3日(土) 会場：(株)ブルボン統合研修センター3階多目的ホール 参加者：10名

8月5日(土) 会場：(株)ブルボン統合研修センター3階多目的ホール 参加者：9名

10月7日(土) 会場：(株)ブルボン統合研修センター3階多目的ホール 参加者：10名

12月2日(土) 会場：(株)ブルボン統合研修センター3階多目的ホール 参加者：10名

(4) 他機関への事業協力

昨年度ドナルド・キーン生誕100年に当り、県立神奈川近代文学館「生誕100年ドナルド・キーン展 - 日本文化へのひとすじの道 -」(特別協力:一般財団法人ドナルド・キーン記念財団・編集協力:キーン誠己、開催期間:5月28日(土)～7月24日(日))への協力を行ない、パネル・資料等を貸し出した他、財団・センターとして協力団体として名前を掲出しました。なおドナルド・キーン生誕100年記念展としては、これ以外に、軽井沢高原文庫「生誕100年ドナルド・キーン展 軽井沢と日本語の美」(7月16日(土)～10月10日(月祝))・京都文化博物館「ドナルド・キーン生誕100年記念 ドナルド・キーンと画家・井澤元一」(8月6日(土)～10月2日(日))の開催がありました。

本年度も、

○松山市立子規記念博物館(愛媛県) 9月2日(土)～10月16日(月)

「ドナルド・キーンのみた『正岡子規』 俳句革新者の探究」

○高志の国文学館(富山県) 9月24日(日)～11月27日(月)

「富山新聞創刊100年記念 ドナルド・キーン 世界から見た日本文学展」

○田原市博物館(愛知県) 10月7日(土)～12月3日(日)

「特別展 ドナルド・キーンと渡辺華山 -華山の叡智にふれて-」

の3つの企画展が開催され、うち高志の国文学館・田原市博物館に対しては要請を受けて協力を行ない、パネル・資料・映像等を貸し出した他、財団・センターとして協力団体として名前を掲出しました。高志の国文学館では当センターオリジナルグッズの委託販売にも協力しております。

その他例年同様、東京都北区中央図書館「ドナルド・キーンと平和展」への協力として展示パ

ネル(キーン先生アメリカ海軍時代の写真パネル2枚)を貸出しました。

8月1日(火)～8月31日(木)

会場：北とぴあ地下展示ホール(東京都北区・8月1日～6日)、北区中央図書館ドナルド・キーンコレクションコーナー(東京都北区・8月7日～31日)

主催：北区中央図書館・北区図書館活動区民の会

#### 4. 教育活動

本年度のドナルド・キーン・センター柏崎の運営事業に関連した教育活動は、(2)地域との連携事業に記載の通りですが、その他褒賞事業である「公益財団法人ブルボン吉田記念財団文学・平和アワード」作品募集に関係して、柏崎市立第一中学校3年生のセンター来館・見学及び感じたこと等を文章化する活動(課外授業)が5月18日(木)に行われました。

#### 5. 書籍の寄贈

今年度においては、福島県双葉郡双葉町・同郡楡葉町・同郡富岡町・同郡大熊町に対してのキーン先生著作本の寄贈は実施しておりませんが、9月に制作発刊した10周年記念誌「公益財団法人ブルボン吉田記念財団 ドナルド・キーン・センター柏崎 10年のあゆみ」を、12月までに法人賛助会員企業・官公庁及び関係施設・市内中高校・関係者・個人賛助会員・主要ボランティア・文学平和アワード受賞者等合計650件以上に挨拶状を添えてお届け・発送しました。お礼状なども50件以上から頂戴しました。

#### 6. 広告・広報活動

展示、普及事業の告知及び取材、広告出稿を行いました。

##### ① 広報活動

- ・特別企画展「未来への伝言 高橋義樹、ドナルド・キーンの太平洋戦争」ポスター、  
チラシの作成と配布 1回
- ・10周年記念イベントポスター、チラシの作成と配布 2回
- ・普及事業のチラシの作成と配布 35回
- ・ホームページの更新 (お知らせページ更新) 115回
- ・新聞、雑誌掲等載件数(連載記事含む) 114件
- 他、新潟日報「県内主要美術館・博物館ガイド」「こしじガイド」等への掲載 22回
- 柏崎日報「催し物コーナー」「暮らしの情報サービス」等への掲載 218回
- ・テレビ・ラジオ情報掲出(twitter・facebook等含む) 41件

##### ② 広告活動

- ・柏崎コミュニティー放送(4月～3月) 24回
- 「柏崎発信! ドナルド・キーンの世界」平成26年7/25～毎週金曜日13:30～10分間
- ・柏崎コミュニティー放送広告(年賀広告含む) 96回
- ・広告掲載 新聞広告 58回
- ・雑誌k o m a c h iへの広告掲載・にいがた経済新聞(Web) 2回
- ・NST新潟総合テレビ柏崎紅葉ウォーキング企画への協賛  
(センター名掲出告知スポット10/16～11/中旬にて15秒:53本・30秒:11本、  
計64本露出、商品買上メリットとしてDKCトートバッグ50個あり)

## 7. 褒賞事業

財団設立・センター開館10周年の節目となる2023年度長年の課題であった褒賞事業の実施に取り組み、「公益財団法人ブルボン吉田記念財団文学・平和アワード」を実施しました。

2022年12月に実施内容の公表の後、2023年2月1日から作品応募を開始しました。2023年4月以降の主な活動は以下の通りです。

- ・ 4月 作品募集告知のため新聞広告の他、公募等情報 web サイトや新潟日報の web サイト等への PR・露出展開、市内中高校・大学等への訪問による紹介活動実施
- ・ 5月 一般応募締切・市内中高校からの学校経由応募締切延長(5月31日まで)
- ・ 6月 定時評議員会・第2回理事会にて状況報告、事務局にて一次審査・選考、その結果(作品コピー)及び今後の進行スケジュール等を審査委員に報告・連絡
- ・ 7月 審査委員より評価シートを提出いただき、共有するとともに最終審査会スケジュール確定、理事長報告
- ・ 8月 8月7日新潟市内で最終審査会開催、各部門最優秀賞・優秀賞受賞作品内定、理事長報告の上各理事に報告・書面決議(8月25日付)にて審査結果の承認を得る。受賞者に事前連絡・了解を得た上で、8月30日に「受賞作品のお知らせ」プレスリリース
- ・ 9月 10月22日開催「公益財団法人ブルボン吉田記念財団文学・平和アワード表彰式・記念鼎談会」告知ポスター・チラシ等配布・発送開始、受賞者との事前摺合せ・表彰式出席要請
- ・ 10月 表彰式表彰状・記念楯・副賞等事前準備、10月22日柏崎市市民プラザ波のホールにて「公益財団法人ブルボン吉田記念財団文学・平和アワード表彰式・記念鼎談会」開催、「受賞作品集」作成・アワード表彰式にて配布の他関係者等へ発送
- ・ 11月 財団2023年度第3回理事会にて事業概要報告、また次回開催について相談をし、2024年度も継続実施にて企画を進めることとなる
- ・ 2024年3月  
財団2023年度第4回理事会にて「第2回ブルボン吉田記念財団文学・平和アワード」実施要項の承認をいただき、継続実施となる  
併せて理事会にていただいた意見・提案等を反映して、告知物を制作し関係先等1,110件に送付の他、3月29日に財団・センターHPに募集告知・応募フォーム等の掲載を行なった

以上



## 【公益事業②】

公益事業②については、教育及び文化・芸術・体育等の振興に関する助成・協賛を行い、広く教養の向上及び心身の健全な発展に寄与することを目的に、「奨学金の貸与」「文化芸術・スポーツ振興に対する助成事業」を実施しております。

### (1) 奨学金の貸与

人員(3月末現在)	4月～3月貸与額	4月～3月返還額
大学院2年生 1名(30,000円)	合計	127名
大学院1年生 1名(30,000円)※1	33,390,000円	27,252,470円
6年生 1名(30,000円)※2	(前年同期：33,990,000円)	(前年同期：126名
5年生 1名(30,000円)※3		29,306,000円)
4年生 16名(30,000円)※4		
3年生 22名(30,000円)※5		
2年生 23名(30,000円)※6.7.8		
1年生 25名(30,000円)※9		
90名(前年同期：94名)		

※1 大学院1年生は、海外の大学院進学により4月から6月の間休止し、7月より貸与再開した1名

※2 6年生は、留学による休止から貸与再開(2022年4月)した1名

※3 5年生は、薬学部の1名

※4 2023年4月より留学による休学のため貸与を休止した1名を除く

※5 2023年8月にて経済的に安定したため、貸与辞退1名

※6 2023年5月にて経済的に安定したため、貸与辞退1名

※7 2023年5月にて退学により、貸与辞退1名

※8 2024年2月にて退学により、貸与辞退1名

※9 2023年11月にて体調不良による休学のため貸与を休止した2名を除く

・3月15日 2023年度から奨学金返還を開始する14名に「奨学金返還指示書」を、2023年度で奨学金貸与が終了する20名に「奨学金返還のしおり・奨学金借用証書」等を、2023年度奨学金継続貸与予定者71名に「奨学金継続願」を送付

・4月 2日 合格者26名に対し採用決定通知を発送

・4月10日 繰上げ合格者1名に対し採用決定通知を発送

・9月24日 対象地域の学校長・奨学生担当教諭宛(計832校)に、第48回(2024年度)奨学生募集要項を発送

新潟県 140校、山形県 77校、長野県 129校、福島県 118校、青森県 79校、秋田県 72校、岩手県 95校、宮城県 122校

・9月28日 第48回(2024年度)奨学生募集要項を財団HPに掲載

・11月13日 財団2023年度第3回理事会にて、「奨学金貸与規程」改訂及び第48回(2024年)奨学生選考委員の委嘱について承認を得る

・11月25日 奨学金返還中の127名に「奨学金返還期日のお知らせ」を発送

・12月31日 第48回(2024年度)奨学生応募締切

・2024年1月20日・22日

第48回(2024年)奨学生選考委員会開催 6県18校23名の応募者を全員一次合格者とし、募集定員に未達であるとともに大学不合格・奨学金貸与辞退者

が毎年一定数あることから、上記832校に対し募集人数若干名・応募締切2月末日として奨学生二次募集を行なうこととした 一次合格者については22日に該当高等学校及び本人に通知

- ・ 2月5日・7日  
2023年度未返還者及び返還予定額に対して残高のある9名に、3月31日を納付期限とした「奨学金返還期日のお知らせ」を発送
- ・ 2月29日 二次募集締切6県12校14名の応募あり
- ・ 3月1日～6日  
奨学生選考委員に二次募集出願者名簿を発送・選考
- ・ 3月8日 全奨学生選考委員による選考を基に、二次募集出願者14名を全員一次合格と決定し、理事長の承認を得た
- ・ 3月12日 二次募集の該当高等学校及び本人に一次選考結果を通知
- ・ 3月15日 2024年度から奨学金返還を開始する18名に「奨学金返還指示書」を、2024年度奨学金継続貸与者73名に「奨学金継続願」を発送

## (2) 文化芸術・スポーツ振興に対する助成事業

- ・ 3月14日 財団HPにて「2023年度文化・スポーツ助成事業」募集要項を掲載
- ・ 5月11日 文化芸術振興事業29件・スポーツ振興事業12件の申請があり、5月29日の第1回理事会での選考では時間が要することから、申請書他一式資料を事前に各理事宛に送付し、5月22日までに選考結果を事務局宛提出いただき、それを集計し上位を理事会にて報告の上、選考結果として承認をいただく形にて進行することとした
- ・ 5月29日 第1回理事会にて、以下文化芸術振興事業助成2件、スポーツ振興事業助成2件を選考、なお助成金は各100,000円とした
  - 文化芸術振興助成事業：
    - ・ 団体名 柏崎植物友の会(新潟県)  
事業名 柏崎・刈羽オープンガーデン
    - ・ 団体名 緑翔会(東京都)  
事業名 出前授業「能楽ことはじめ」
  - スポーツ振興助成事業
    - ・ 団体名 NP0 法人子どもネットワークセンター天気村(滋賀県)  
事業名 あっ！走れ 誰でも いつでも どこでもマラソン大会
    - ・ 団体名 都筑区障害者事業所ネットワークてつなぎつづき(神奈川県)  
事業名 ROOTS. てつなぎつづき交流スポーツ大会
- ・ 5月31日 上記4団体に対し、交付決定通知書を発送
- ・ 6月30日 柏崎植物友の会(新潟県)・NP0 法人子どもネットワークセンター元気村(滋賀県)・都筑区障害者事業所ネットワークてつなぎつづき(神奈川県)の3団体に対し助成金交付(振込)
- ・ 10月31日 緑翔会(東京都)に対し助成金交付(振込)
- ・ 11月17日 NP0 法人子どもネットワークセンター天気村(滋賀県)より事業報告書他が提出される
- ・ 12月25日 緑翔会(東京都)より事業報告書他が提出される

- ・ 1月20日 都筑区障害者事業所ネットワークつなぎつづき(神奈川県)より事業報告書他が提出される
- ・ 3月11日 財団2023年度第4回理事会にて報告の後、翌日財団HPにて「2024年度文化・スポーツ助成事業」募集要項を掲載

以上

### 【収益事業】

収益事業は「ドナルド・キーン・センター柏崎」でのオリジナルグッズ販売事業です。

- (1) 4月～3月末現在の売上実績 612,123円(1日当3,188円)  
 ※高志の国文学館物販分75,330円を含む(除くと536,793円・1日当2,796円)
- |          |        |
|----------|--------|
| 買上人数     | 363人   |
| 購入者1人当単価 | 1,686円 |

以上

### 【財団の運営に資する主な活動の報告】

#### (1) 主要な会議

##### ① 理事会

開催年月日	議事事項	会議の結果
第1回理事会 2023年5月29日 ㈱ブルボン統合研修センター大ホール	第1号議案 2022年度決算報告において、特定費用準備資金の積増しとしてとして11,500千円を計上することについての承認の件 第2号議案 2022年度事業報告書、貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録承認の件 第3号議案 公益事業2 文化芸術・スポーツ振興事業助成選考の件 第4号議案 理事候補9名選任の件 第5号議案 監事候補2名選任の件 第6号議案 定時評議員会の招集通知の件 第7号議案 財団が所有する株式の議決権行使に関する件 その他報告相談事項に関する件 (1)2023年度事業計画、年間活動計画他についての報告 (2)企画展示室・収蔵スペース新設計画について (3)財団設立・センター開館10周年記念イベントの運営外部委託検討について (4)公益財団法人ブルボン吉田記念財団文学・平和アワード応募状況について	原案のとおり承認されました。  原案のとおり承認されました。  原案のとおり承認されました。  原案のとおり承認されました。  原案のとおり承認されました。  原案のとおり承認されました。  原案の通り承認されました。  事務局より報告説明がありました。  事務局より報告説明がありました。  事務局より報告がありました。全体費用の提示・映像記録の責任明確化等の意見がありました。 事務局より報告説明がありました。
第2回理事会 2023年6月19日 ㈱ブルボン統合研修センター大ホール	第1号議案 理事長選定の件 その他報告相談事項に関する件 (1)財団設立・センター開館10周年関係記念イベントについての報告	原案のとおり承認されました。  事務局より報告説明がありました。出席理事から記録撮影や外部マスコミの撮

<p>書面決議による理事会 2023年8月25日 ※書面決議にて行ない ました 第3回理事会 2023年11月13日 ㈱ブルボン統合研修セン ター大ホール</p>	<p>(2)公益財団法人ブルボン吉田記念財団文学・平和アワード作品応募状況及び今後の進行についての報告 (3)高志の国文学館ドナルド・キーン展内容及び協力依頼についての報告</p> <p>第1号議案 公益財団法人ブルボン吉田記念財団文学・平和アワード最終審査結果についての承認の件</p> <p>第1号議案 「奨学金貸与規程の一部改訂について」の承認の件 第2号議案 奨学生選考委員委嘱の件 その他報告相談事項に関する件 (1)2023年度4月～10月事業報告について (2)2023年度資金使用状況(4月～10月)について (3)財団設立・センター開館10周年記念事業報告について(相談事項:文学・平和アワードの今後の展開について) (4)2024年度企画展・新講座について (5)奨学金管理システムについて (6)2023年度第4回理事会の開催について (7)直近の報告事項・2024年度年賀状について</p>	<p>影・上映に関する権利の問題等についての提案があり、今後対応を図っていくこととしました。 事務局より報告説明がありました。</p> <p>事務局より報告説明がありました。出席理事より当センター保有の映像・画像データ保管についての問題提起があり、今後検討を継続することとしました。</p> <p>8月7日開催の最終審査会にて審査・選考された審査結果について承認されました。</p> <p>原案のとおり承認されました。</p> <p>原案のとおり承認されました。</p> <p>事務局より報告説明がありました。 事務局より報告説明がありました。</p> <p>事務局より報告説明がありました。アワードについては2024年度も継続実施する方向で第4回理事会に議案として呈上することとなりました。 事務局より報告説明がありました。 事務局より報告説明がありました。 事務局より報告説明がありました。 事務局より報告説明がありました。</p>
<p>第4回理事会 2024年3月11日 ㈱ブルボン統合研修セン ター大ホール</p>	<p>第1号議案 2024年度事業計画(案)の承認の件 第2号議案 2024年度収支予算(案)の承認の件 第3号議案 第2回ブルボン吉田記念財団文学・平和アワード実施要項(案)の承認の件 第4号議案 財団奨学金貸与規程改訂(案)の承認の件 その他報告相談事項に関する件 (1)2023年度事業報告・資金使用状況について (2)2024年度奨学生選考委員会及び合格者について (3)文化芸術・スポーツ等の振興活動についての助成について (4)2024年度理事会・評議員会の開催について (5)センターリニューアルについて (6)その他・直近の報告事項</p>	<p>原案のとおり承認されました。</p> <p>原案のとおり承認されました。</p> <p>一部追加事項の提案があり、それを加えて原案のとおり承認されました。</p> <p>一部文言修正の提案があり、それを加えて原案のとおり承認されました。</p> <p>事務局より報告説明がありました。</p> <p>事務局より報告説明がありました。</p> <p>事務局より報告説明がありました。</p> <p>事務局より報告説明がありました。</p> <p>事務局より報告説明がありました。 事務局より報告説明がありました。</p>

② 評議員会

開催年月日	議 事 事 項	会 議 の 結 果
2023 年度 定時評議員会 2023 年 6 月 19 日 ㈱ブルボン統合研修セン ター大ホール	第 1 号議案 2022 年度貸借対照表、正味財産増減計算 書及び財産目録承認の件 第 2 号議案 理事 9 名選任の件 第 3 号議案 監事 2 名選任の件 その他報告事項に関する件 (1)2022 年度事業報告について (2)2023 年度事業計画及び収支予算書につ いて (3)2023 年度年間活動計画について (4)直近の報告事項について	原案のとおり承認されました。  原案のとおり承認されました。  原案のとおり承認されました。  理事会にて承認された事項について 事務局より、報告がありました。

③ 奨学生選考委員会

開催年月日	議 事 事 項	会 議 の 結 果
(第 47 回(2023 年 4 月進 学)選考委員会) 2023 年 1 月 21 日 ㈱ブルボン統合研修セン ター大ホール	出願者 28 名についての選考	各委員の意見を参考にし、大学不 合格・奨学金貸与辞退者が例年一定数あ ること等を考慮し、一次合格者を 27 名 とし、残り 1 名を補欠候補者として選 考しました。
第 48 回(2024 年 4 月進学) 奨学生選考委員会 2024 年 1 月 20 日 ㈱ブルボン統合研修セン ター大ホール	出願者 23 名についての選考	各委員の意見を参考にし、大学不 合格・奨学金貸与辞退者が例年一定数あ ること等を考慮し、出願者 23 名を全 員一次合格とし、出願のあった 18 校 を含む全 832 高校に対し、募集人数若 干名・募集締切 2/末として奨学生二次 募集を行なうこととしました。

(2) 運営・組織に関する報告

- ・ 3 月 2 4 日 2023 年度第 1 回理事会開催日を 5 月 1 5 日から 5 月 2 9 日に変更、文書連絡  
2023 年度事業計画書・収支予算書他必要書類一式を内閣府へ電子申請
- ・ 4 月 7 日 時間外労働・休日労働に関する協定届、1 年単位の変形労働時間制に関する協定  
届等について、長岡労働基準監督署へ届出
- ・ 5 月 2 9 日 2023 年度第 1 回理事会開催
- ・ 6 月 1 9 日 2023 年度第 2 回理事会・2023 年度定時評議員会開催
- ・ 6 月 2 6 日 2022 年度決算報告・事業報告他必要書類一式を内閣府へ電子申請
- ・ 8 月 1 7 日 財団役員についての変更登記完了
- ・ 8 月 2 5 日 文学・平和アワード最終審査結果の承認を書面決議による理事会にて承認
- ・ 9 月 1 6 日 受付人員強化・代替対応のためパート契約職員 1 名新規採用
- ・ 1 1 月 1 3 日 2023 年度第 3 回理事会開催
- ・ 1 2 月 1 3 日 公益財団法人公益法人協会「情報公開/電子公告」共同サイトへ財団貸借対照表  
(5 年間分)・2022 年度事業報告書を掲出
- ・ 2024 年 1 月 1 9 日  
柏崎市財務部税務課へ令和 6 年度償却資産申告書を提出

・2024年3月11日

2023年度第4回理事会にて吉田理事長の館長兼務を解き、新たにセンター館長に吉田眞理理事が就任すること及び中津義人理事のセンター副館長の勇退が報告される

・2024年3月26日

2024年度事業計画・収支予算書及び設備投資の見込について、内閣府へ電子申請

(3) 賛助会員・寄付金状況

別紙②の通りです。

ドネーションボックス（特別企画展設置）内寄付金額

2023年4月～3月                      43,678円

※上記の寄付金は「正味財産増減計算書」内の「受取寄付金」に含まれます。

以上

# 2023年度奨学事業に関する事業報告書

(2023年4月1日から2024年3月31日まで)

## 1. 事業の概要

(1) 2023年4月進学(第47回)奨学生採用決定(2023年3月31日)

対象者	採用計画	採用決定
大学生	25名	27名

(2) 奨学金貸与(4月14日から貸与開始、第47回奨学生は4月下旬に4・5月2か月分開始)

対象者	人数	1名当り貸与額		当年度貸与額
大学院生 大学生	95名 (6月より93名) (7月より94名) (9月より93名) (12月より91名) (3月より90名) (大学院(1)・2年生 1・2・3・4・5・6年生 95名)	大学院1・2年生 1・2・3・4・5・6年生 月額 30,000円	年額 360,000円	33,390,000円

※1 大学院1年生は海外の大学院進学により4月から6月の間休止し7月より貸与再開した1名

※2 6年生は、留学による休止から貸与再開(2022年4月)した1名

※3 5年生は、薬学部の1名

※4 2023年4月より留学による休学のため貸与を休止した1名を除く

※5 2023年5月にて経済的に安定したため、貸与辞退1名

※6 2023年5月にて退学により、貸与辞退1名

※7 2023年8月にて経済的に安定したため、貸与辞退1名

※8 2023年11月にて体調不良による休学のため貸与を休止した2名を除く

※9 2024年2月にて退学により、貸与辞退1名

(3) 2024年4月進学(第48回)奨学生募集

① 募集計画数 大学生 25名

② 募集活動

・対象校 高等学校832校

(新潟県140校、山形県77校、長野県129校、福島県118校  
青森県79校、秋田県72校、岩手県95校、宮城県122校)

・募集要項発送 9月24日

・応募締切 12月31日

③ 出願者及び選考(第一次選考委員会、2024年1月20日)

・応募者数6県18校23名にて全員第一次合格者とし、該当高等学校及び本人に通知更に募集人数若干名・応募締切2月末日として奨学生二次募集を実施

・2月29日 二次募集締切6県12校14名の応募あり

・3月1日～6日 二次出願者一覧を選考委員5名に郵送にて送付・選考

・3月8日 全選考委員による選考に基づき、二次募集出願者14名全員を合格と決定し、理事長の承認を得た

・3月12日 二次募集の該当高等学校及び本人に一次選考結果を通知

対象者	採用計画	出願者	1次合格	採用決定(3月31日現在)
大学生	25名	一次出願 23名 二次出願 14名	23名(一次出願) 14名(二次出願)	37名 〔うち、一次出願者より 2名辞退〕



## 2024年4月進学（48回）奨学生採用者名簿（35名）

奨学生番号	性別	出身高等学校	進学大学(学部もしくは学科)
679	男	福島県立郡山北工業高等学校	神奈川工科大学 工学部機械工学科
680	女	新潟県立新発田商業高等学校	桐生大学 医療保健学部栄養学科
681	男	青森県立黒石高等学校	青森中央学院大学 経営法学部経営法学科
682	女	佐久長聖高等学校	女子美術大学 芸術学部アート・デザイン表現学科
683	女	宮城県中新田高等学校	東北福祉大学 総合福祉学部社会福祉学科
684	男	新潟県立高田高等学校	慶應義塾大学 商学部
685	女	仙台市立仙台青陵中等教育学校	早稲田大学 政治経済学部経済学科
686	男	東北高等学校	立命館大学 経営学部経営学科
687	女	佐久長聖高等学校	津田塾大学 総合政策学部総合政策学科
688	女	青森県立五所川原高等学校	東北医科薬科大学 薬学部薬学科
689	男	福島県立福島商業高等学校	仙台大学 体育学部体育学科
690	男	福島県立安積高等学校	新潟大学 工学部工学科力学分野
691	男	中越高等学校	新潟薬科大学 薬学部薬学科
692	男	新潟県立新潟商業高等学校	神奈川大学 経営学部国際経営学科
693	女	千葉学園高等学校	東北生活文化大学 家政学部家政学科
694	男	東京学館新潟高等学校	新潟医療福祉大学 リハビリテーション学部義肢装具自立支援学科
695	女	柴田学園大学附属 柴田学園高等学校	東京富士大学 経営学部経営学科
696	女	秋田県立新屋高等学校	東北文化学園大学 現代社会学部現代社会学科
697	男	東北高等学校	東海大学 理学部情報数理学科
698	女	新潟県立柏崎高等学校	鎌倉女子大学 教育学部教育学科

奨学生番号	性別	出身高等学校	進学大学(学部もしくは学科)
699	女	宮城県石巻高等学校	東北福祉大学 総合福祉学部社会福祉学科
700	男	中越高等学校	新潟工科大学 工学部工学科
701	男	宮城県仙台向山高等学校	筑波大学 理工学群数学類
702	男	東京学館新潟高等学校	新潟大学 工学部工学科化学材料分野
703	男	長野県松本県ヶ丘高等学校	横浜国立大学 経済学部経済学科
704	女	新潟県立高田南城高等学校	尚美学園大学 芸術情報学部情報表現学科
705	男	長野県諏訪二葉高等学校	東京経済大学 経営学部経営学科
706	男	中越高等学校	名城大学 人間学部人間学科
707	男	日本大学山形高等学校	流通経済大学 スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科
708	女	東京学館新潟高等学校	日本大学 芸術学部文芸学科
709	男	新潟県立高田南城高等学校	帝京大学 経済学部経済学科
710	女	新潟県立新発田商業高等学校	目白大学 保健医療学部言語聴覚学科
711	男	秋田県立能代科学技術高等学校	岩手医科大学 薬学部
712	女	東京都市大学塩尻高等学校	東洋大学 経済学部国際経済学科
713	男	中越高等学校	群馬パーズ大学 医療技術学部放射線学科

## 2024年4月進学（48回）奨学生

### 奨学生採用実績および次年度採用案

	第36回 24/4	第37回 25/4	第38回 26/4	第39回 27/4	第40回 28/4	第41回 29/4	第42回 30/4	第43回 2019/4	第44回 2020/4	第45回 2021/4
大学生	20名	20名	25名	21名	24名	11名	25名	24名	19名	25名

第46回 2022/4	第47回 2023/4	第48回 2024/4	第49回 2025/4
28名	27名	35名	25名

### 奨学生在学者数

年 度	大学生	年 度	大学生	年 度	大学生	年 度	大学生
平18年度	54名	平23年度	65名	平28年度	88名	2021年度	89名
平19年度	53名	平24年度	70名	平29年度	80名	2022年度	96名
平20年度	52名	平25年度	77名	平30年度	81名	2023年度	95名
平21年度	55名	平26年度	84名	2019年度	85名	2024年度	110名
平22年度	59名	平27年度	84名	2020年度	80名		

※2024年度の在学者数には、2024年4月1日時点において奨学金貸与を休止している1名を除いてあります。

### 卒業生数（2024年3月卒業生まで）

大学院	1名（うち中途辞退者等 0名）
大 学	587名（うち中途辞退者等37名）
高 専	13名（うち中途辞退者等 1名）
合 計	601名（うち中途辞退者等38名）

### 卒業生就職状況（中途辞退者を含む）

単位 名

	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	計	比率 (%)
建設業						1	1			1		1		1		5	1.9
製造業	1		2	1	2	1	1	1	2	2	1	1		1	1	17	6.3
公務・団体	1		1	2	1	1	4	2			1	3	1	1		18	6.7
教職員	1	1		1	1		1		2		1	1		1		10	3.7
金融・保険・証券			2		2			4			4	1	1	2	2	18	6.7
運輸・通信							3	1	1	2	3	4	4	3	1	22	8.2
電力・ガス																	
卸売・小売業	1				4	1	1	1	1	4	1	1	3		4	22	8.2
医療・福祉		1	3	2		3	2	2	3	1	1	2		5	3	28	10.4
その他	5	5	4	6	2	2	3	3	4	5	3	6	1	4	8	61	22.7
進学等	3	3	2	1	1	3	1		2	7	2	2	1		3	31	11.5
不詳・死亡	1	2		2	1	3	4	4		4	3	2	4	3	4	37	13.7
計	13	12	14	15	14	15	21	18	15	26	20	24	15	21	26	269	100.0

## 2023年度(2023年4月～2024年3月)奨学金貸付および返還状況

		人数	2022年度3月末 貸付残高	当年度貸付	当年度返還	2023年度3月末 貸付残高
貸 与 終 了 者 ①	2010/3卒	1	345,000	0	20,000	325,000
	2011/3卒	2	681,000	0	195,000	486,000
	2012/3卒	2	490,000	0	130,000	360,000
	2013/3卒	4	1,147,000	0	402,000	745,000
	2014/3卒	3	572,000	0	316,000	256,000
	2015/3卒	10	3,430,330	0	871,670	2,558,660
	2016/3卒	10	3,842,000	0	1,122,000	2,720,000
	2017/3卒	15	7,142,000	0	1,724,000	5,418,000
	2018/3卒	13	10,613,000	0	2,143,000	8,470,000
	2019/3卒	15	12,562,000	0	3,350,000	9,212,000
	2020/3卒	17	19,300,000	0	3,072,000	16,228,000
	2021/3卒	15	15,302,000	0	3,294,800	12,007,200
	2022/3卒	16	22,632,000	0	4,848,000	17,784,000
	2023/3卒	25	33,030,000	0	5,764,000	27,266,000
	小計	148	131,088,330	0	27,252,470	103,835,860
在 校 生 ②	第42回	2	2,940,000	720,000	0	3,660,000
	第43回	1	2,880,000	630,000	0	3,510,000
	第44回	16	18,360,000	5,760,000	0	24,120,000
	第45回	23	16,560,000	8,070,000	0	24,630,000
	第46回	26	9,360,000	8,730,000	0	18,090,000
	第47回	27	0	9,480,000	0	9,480,000
	小計	95	50,100,000	33,390,000	0	83,490,000
合計	243	181,188,330	33,390,000	27,252,470	187,325,860	

(注) ①貸与終了者には中途辞退者を含み、返還完了者は除いてあります。

②2023年4月1日時点における休止者について、在校生の人数からは除いてありますが、貸付残高には含まれています。

第43回生 2023年7月15日付で1名大学院進学により貸与復活(1名→2名)

第45回生 2023年8月15日付で1名辞退により貸与終了(23名→22名)

第46回生 2023年5月15日付で2名辞退により貸与終了(26名→24名)

第46回生 2024年2月15日付で1名辞退により貸与終了(24名→23名)

第47回生 2023年11月15日付で2名休学により貸与休止(27名→25名)

以上